

地域の「やってみたい」を応援する情報誌

みんな



思いを生かす 組織のチカラ

市民活動をする団体にも「マネジメント」が必要だといわれます。
マネジメント?! 難しい言葉ですが、メンバーの思いを生かし、団体の目的を実現するためには大切です。今号では、みんなで地域づくりセンターで開催している具体的で分かりやすいマネジメント勉強会をご紹介します。

学ぶ・整える・実現する



連絡先

四街道市
みんなで地域づくりセンター
住所：四街道市大日 396
電話：043-304-7065

目指すのは 必要とされる組織になること

あなたの団体では、活動目的がイベントを開催することそのものになっていませんか？ 会議では、その日に決めるべきことが時間内に決まっていますか？

みんなで地域づくりセンターで月1回開催する「ソシオ・マネジメント勉強会」。市民団体が目的に向かっただけのように取り組むべきか、多くの人が参加・協力するために必要なことは何か（「マネジメント」を学ぶ場です。運営に関する悩みや疑問について、例えば冒頭のような具体的な視点から一緒に考えます。

企業と異なり、市民活動は立ち上げた人など個人の思いが前面に出がちです。イベントの準備一つをとっても担当者の経験や勘で進められていることが多いようです。

ソシオ・マネジメント勉強会は、客観的な視点を取り入れて団体の運営を整えることで、社会から必要とされる組織になることを目指しています。

活動に生かす勉強会での学び

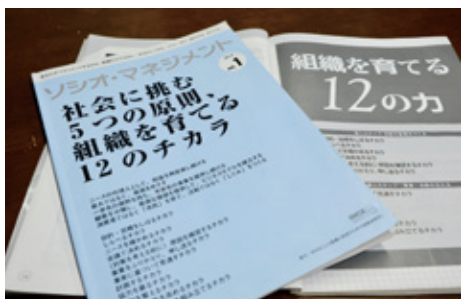
勉強会は1、2年目に※1テキストを読み合い、互いの活動内容や運営方法について意見交換を行いました。翌年は、ワークシートを使い実践力を養いました。4年目の今年は、成果を出すための実務、例えば持ち寄った※2ガントチャートのブラッシュアップやアンケートの分析などを身に付けました。

参加者は、学んだことを持ち帰り団体のメンバーと共有して活動に生かしています。「会議では、全員がふせん紙を使うことで、発言のない人からも意見を引き出すことができました」「市民団体でも積極的に収益を増やしてもいいのですね」こんな

な発見やアイデアが次々と生まれています。市民活動団体だけではなく、例えばPTAや自治会など、身近な組織に取り入れられることもたくさんありそうです。

日頃の活動の中で感じる迷いや疑問を持ち寄り、一緒に学んでみませんか？ 組織のチカラを最大限に生かし、めざす目的を実現させましょう。

※1 I-HOE「人と組織と地球のための国際研究所」発行『ソシオ・マネジメント＜OL＞』川北秀人著
※2 イベントや事業全体の作業の流れと進捗状況を項目別・担当者別などにまとめた表



「目的・目標をしぼる」「ニーズを確かめる」など、組織に必要なチカラについて記されたテキストを使い勉強しています

ソシオ・マネジメント 勉強会での事例を紹介



中央が岩崎さん

事例その1 ガントチャートで 工程を見える化

子育て中のママの孤立を防ぐため各自のスキルを活かしたハンドメイドマルシェや講座を企画・運営する「よっかいどう mamamo」の岩崎さん

岩崎 勉強会に参加したのは、効率よく事業の年間計画を立てる方法を知りたかったからです

— これまではどのように計画を立てていたのですか？

岩崎 例えばイベント準備が各人の記憶だけで進み、心もとなくて…

— ガントチャートで、時間を横軸、作業や担当者を縦軸に記すと事業全体が見える化できますよ

岩崎 なるほど。手順を踏みながら作業を進めると、手落ちなく準備ができそうですね

後日談—

岩崎 イベントのたびに繰り返し使えるガントチャートができ、とても動きやすくなりました。年2回のマルシェの準備を効率的に進めることができるようになって、隙間に小さなイベントも企画できました

事例その2 会議の効率化

市内の子ども会の自主性を尊重しながら、各育成会の連絡・協調を図る四街道市子ども会育成連合会の千脇さん

千脇 参加者20人ほどの定例会が時間内に終わることが少なくて…

— どんな流れで進めていますか？

千脇 報告、議題の順です。議題が多いこともあります。報告なのに思いが入ってしまい、次から次へと

意見が出るので、時間を取られていてと思います

— 報告は大切だけど、会議は決める場だから、議題を先に持ってきた方がいいですね

後日談—

千脇 順序を入れ替えただけですが、決めなければいけないことにしつかりと時間をかけられるようになり、報告も短縮できました。会議は効率的に行えば時間内に終わるのでね

大切なことを、 大切な時間・資金をいかして 実現するために



川北秀人（かわきたひでと）

IIHOE [人と組織と地球のための国際研究所] 代表者
兼 ソシオ・マネジメント編集発行人

困っている人を助けたい。同じことを感じている人たちと、助け合いたい。小さな勇気を出して動き出した人たちにとって、始めることよりも続けること、そして、最初にめざした目的を実現することは、もっと大変なこと。自分ひとりではなく、状況も経験も、価値も違う人たちと一緒に動くためには、一緒に考え、一緒に決めなければならないことが、その大変さの原因です。しかし、大切なことを、大切な時間・資金をいかして実現するために、避けては通れません。その大切さに気づき、お互いから学ぶ機会を設け続けてくださっていることは、まさに「あなたがマネジメントするのは、組織だけではない。社会もしくみも、つくり、守り、営むのは、私たちだ」という本誌のねらいの体现。心から敬意を表し、深く感謝します。その積み重ねで、より良い社会づくりを、私たちの手で。

ピックアップ

「第19回自治会情報交換会」



1月26日（土）「地域の困りごとを解決しよう！」というテーマで開催した、第19回自治会情報交換会。今回は、区・自治会長など25名が参加しました。

最近役員は一年交代という自治会も増え、自治会役員になっても何をどうしてよいのかわからない、という声が多く聞かれます。自治会情報交換会は、そのような運営の疑問について同じ立場の役員同士で意見交換をし、他の自治会の参考になる事例を知ることで、自分の地域、自治会にどのような形で取り入れることができるか考える機会となります。

今回は、高齢化にともない、各地で取り組みが求められている介護予防体操や、居場所の運営を行う「西中らくらく会」そして「やすらぎ広場」の2つを紹介しました。どちらも地域の高齢化の課題に

対して自治会が単独で取り組むのではなく、多様な団体と連携、協力し合っている事例です。

さらにセンター主催の地域づくりサロン「みんなでおしゃべりできる居場所を作ろう！」の参加者が始めた「みんなの学食 りんごとはちみつ」の取り組みを紹介しました。

その後、グループに分かれ、主に地域の困りごとと住みよい地域にしていくための解決策について話し合われました。その中で、自治会役員の担い手不足について、「プロジェクトチームを作る」「役割分担で仕事の集中を避ける」など解決のヒントとなる意見も出されました。他地区の事例が参考となり、地域の困りごとへの解決を考えるきっかけとなりました。

お知らせ

みんなで地域づくりセンターでは、これから地域で何かしたい人、すでに活動している人をサポートするプログラムや講座を実施しています。

センター事業をまとめた冊子ができました

センターがもつ機能や、2010年の開設時から取り組んできた事業についてわかりやすくまとめた冊子『みんなで、地域を、デザインしよう。』ができあがりました。

センターでお配りしていますので、どうぞ手に取ってご覧ください。

お問い合わせは、
みんなで地域づくりセンターへ
お電話ください。

Tel. : 043-304-7065



<http://minnade.org/about/outline.pdf>

編集後記

そろそろ年度末、1年があっという間に過ぎちゃった。なんて思っている人も多いのではないのでしょうか。みなさんはどんな1年を過ごしましたか？

今年度の私は、ちょっと視点を変えてみる、ちょっと考え方を変えてみる、という勉強会に参加して新たな方向へ進めたので、決してあっという間ではありませんでした。

次年度の予定はもう決まりましたか？ ちょっとの変化でワクワクするような1年になりそうです。新しいチャレンジ、始めてみませんか。（チョコ）

四街道市みんなで地域づくりセンターについて

四街道市みんなで地域づくりセンター
(四街道市シティセールス推進課分室)

開館日時：火～金 9:00～20:00 / 土 9:00～17:00

休館日：日・月・祝日・年末年始

所在地：四街道市大日 396 四街道市文化センター 1階

Tel. : 043-304-7065 Fax. : 043-422-7051

E-mail : info@minnade.org

Web : <http://minnade.org/>

みんなでNo.19

編集・発行：四街道市みんなで地域づくりセンター

発行日：平成31年3月1日 発行部数：4,000部

配架場所：市役所、公民館、図書館など センターのHPからもダウンロードできます。

表紙の写真：ソシオ・マネジメント勉強会で学んでいる市民団体のみなさん

ホームページ



フェイスブック

